

1. 国民の安定的資産形成

- 金融事業者自身が主体的に創意工夫を発揮し、顧客本位の良質な金融商品・サービスの提供を競い合い、より良い取組みを行う金融事業者が顧客から選択されていくメカニズムを実現していく必要。
- 各金融機関の業務が、どの程度顧客本位のものになっているかを国民が客観的に評価できるよう、環境整備（「見える化」）を推進。

2. 利益相反・ビジネスモデルの検討について

- 今事務年度の金融行政方針において触れられているように、利益相反管理を強化し、顧客本位のサービス提供が行われる態勢を整備していただくことは重要。
- すでに取り組みを始めている金融機関もあると承知しているが、当庁としても、このような取組みの結果が信託銀行ならではのビジネスモデルの構築につながっていくような、実質的な議論が各行において行われることを期待しており、ベストプラクティスを目指した前向きな対話をさせていただきたい。

(以上)